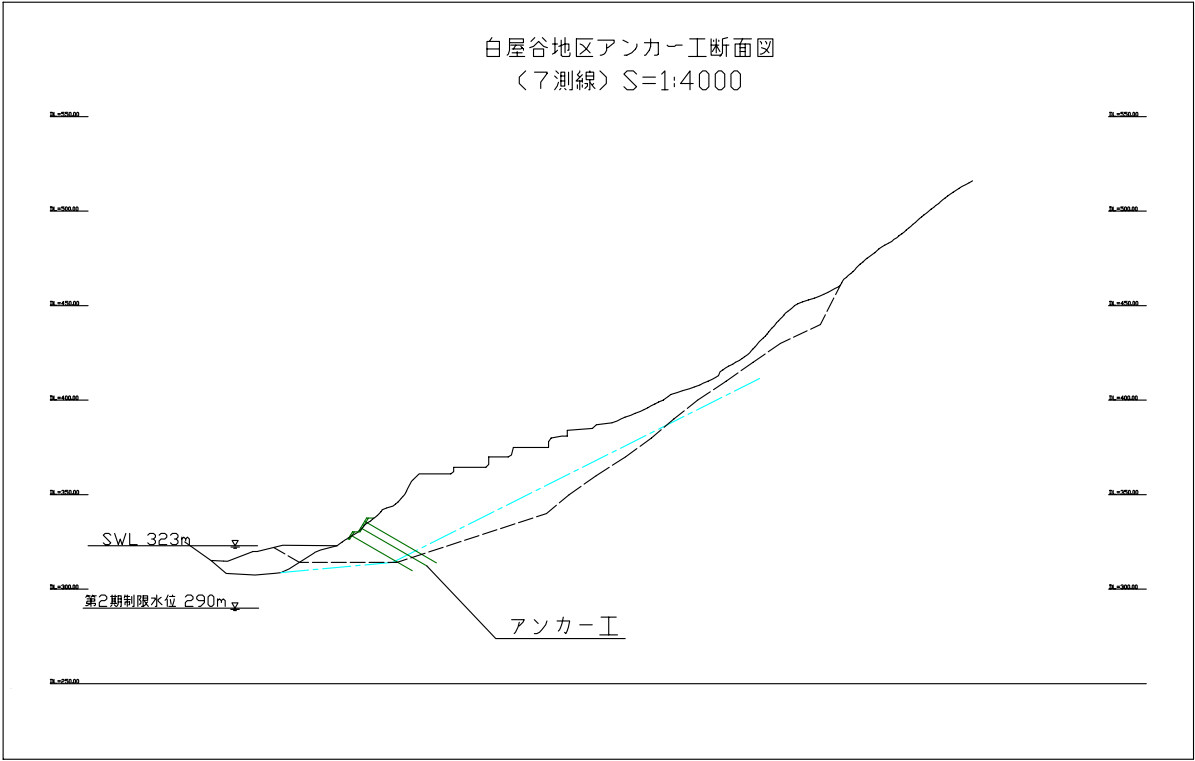
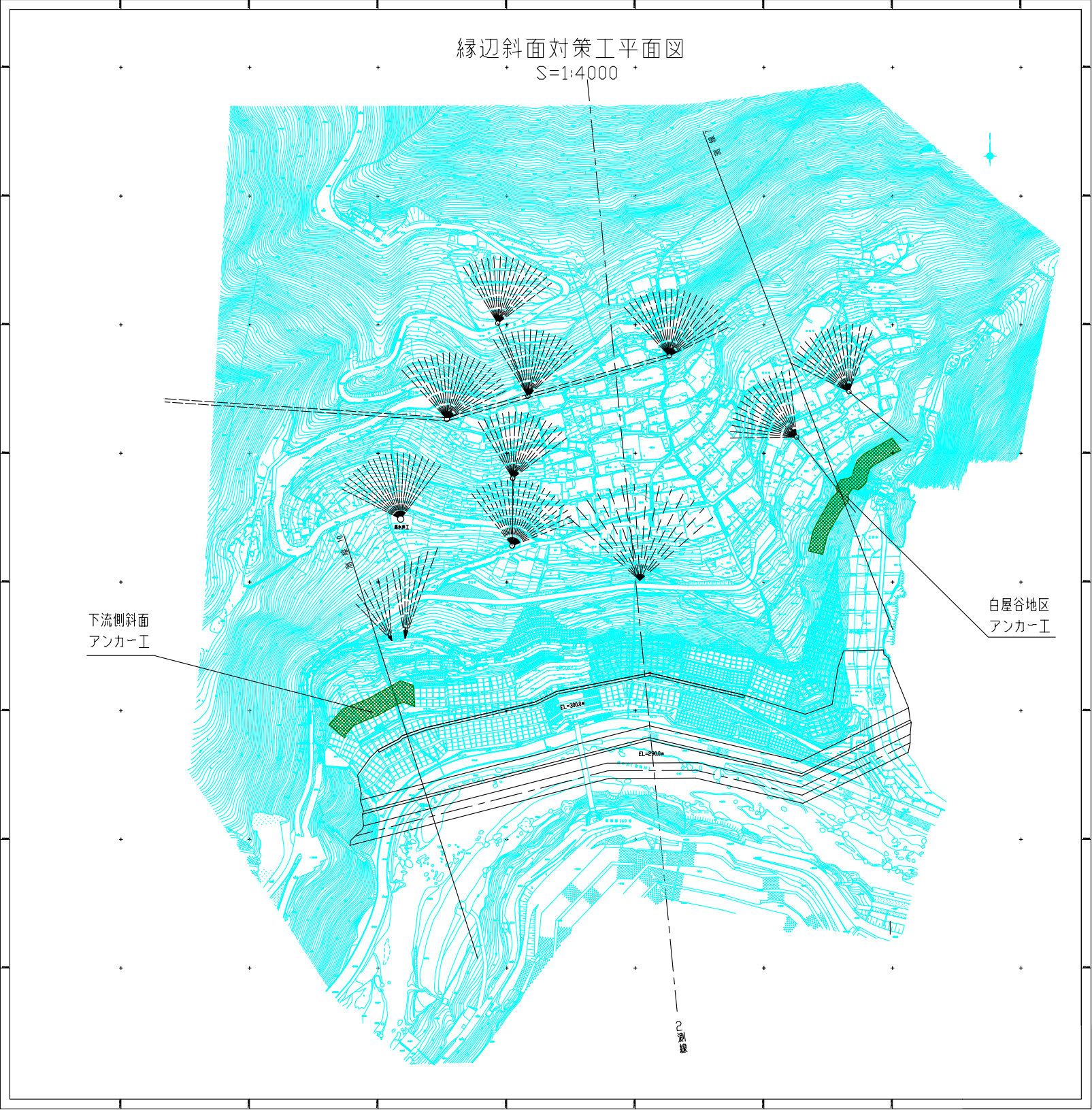
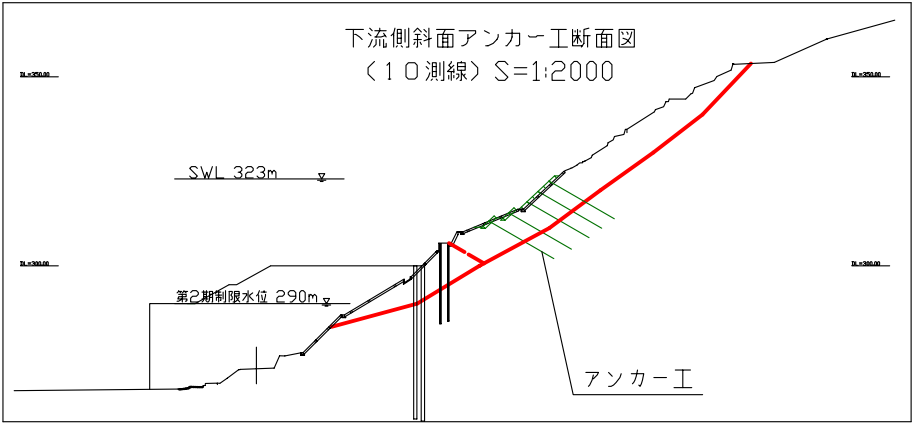


. 対策工の基本検討		
事 項	要 点	備 考
7 .地すべりブロック及び緩み域内の縁辺部安定化対策	地すべりブロック及び緩み域内の縁辺部の不安定斜面については、別途対策工を検討する。 下流側斜面 台風 10 号により、表層部において活発な変動を示しており、押え盛土施工後も部分的に変動する可能性があるため、アンカー工を計画する。 白屋谷地区 押え盛土工の対応範囲外であり、所要の計画安全率を満足しないため、アンカー工を計画する。	
8 .提案対策工の適用について	今回提案した対策工は現段階までの調査結果に基づき検討したものであり、今後の調査の進展によっては変更されることもあり得るものである。	



工種		数量
白屋谷地区対策	アンカー工	約110本 (約1,000kN/本)



工種		数量
下流側斜面対策	アンカー工	約90本 (約1,300kN/本)